

2009 韓国現地研修ツアーのご案内

1990年以降、技術的にも、面積的にも日本の施設園芸面積とほぼ同面積へ飛躍発展し、輸出産業としても急成長してきた韓国を訪れ、最新の厳選された施設園芸技術を、実際の現場でレクチャー、意見交換など盛り沢山の企画を予定しています。当協会ならではの、ひと味違う「韓国現地研修ツアー」です。一緒に隣国である韓国の施設園芸を直接肌で感じませんか！この機会に是非ご参加ください。

チャンス

コーディネーター 慶北大学校 李 基明教授による
厳選された韓国国内の施設園芸施設を一緒に訪問しましょう！

主なツアーポイント

① 躍進する韓国の 大型先進農家(数ヶ所)視察

韓国の亀尾園芸輸出公社(全量日本向け菊の養液土耕栽培 25,000坪)やソウルから釜山にかけて最新鋭施設園芸農家多数(トマト・イチゴ・パプリカ・バラなど)の視察を予定しています。
(* 輸出前提とした施設園芸を体感してください)



釜山周辺の施設園芸団地



2008 オランダ現地研修日蘭セミナー

② 韓国施設園芸の最高機関である 国立園芸特作科学院でセミナー開催

国立園芸特作科学院を訪問し、最新の韓国施設園芸技術開発の状況とこれからの韓国施設園芸の展望に関するセミナー及び意見交換を行います。
構内の最先端研究施設等も視察します。

③ その他日本施設園芸協会ならではの企画 実際の現場でレクチャー、意見交換

- ・躍進する韓国の「施設園芸総合トップメーカー」訪問、意見交換
- ・農業技術教育の現場である「慶尚南道農業技術院 ATEC」を訪問、意見交換
- ・晋州から釜山にかけて輸出向けの施設園芸産地を形成する中にある「施設園芸試験場」訪問、意見交換



慶尚南道農業技術院のパプリカ栽培施設

○予定日程表

2009韓国現地研修ツアー(案)								
日次	月日 (曜日)	地 名	現地時刻	交通機関	日 程	食事		
						朝	昼	夕
1	11/10 (火)	東京(成田)発 ソウル(仁川)着 高 揚 ホテル着(水原)	09:50 12:35 15:00 19:00	JL951 専用バス	空路、ソウルへ 着後、高陽で農家視察(バラ、鉢物栽培) その後、ホテルへ 《ホテルイビスアンバサダー水源泊》	-	-	○
2	11/11 (水)	ホテル出発 水 原 ↓ 礼山郡 ↓ ホテル着(金泉)	08:30 09:30 12:30 15:00~ 16:30 20:00	専用バス	国立園芸特作科学院(水原、旧園芸研究所) でのセミナー及び研究施設視察 韓国の施設園芸総合メーカー訪問、意見交換 ※ホテル到着前に夕食 《金泉パーク観光ホテル泊》	○	○	○
3	11/12 (木)	ホテル ホテル出発 ↓ 亀 尾 ↓ 晋州 ↓ ホテル着(晋州)	06:30 08:30 09:30 11:30 15:30 18:00	専用バス	直指寺観光(食事前希望者だけ、1時間散歩) 亀尾園芸輸出公社視察 (菊の養液土耕栽培 25,000坪) 同一団地で農家視察(パプリカ栽培) 高設イチゴハウス(2,000坪、2箇所視察) 《晋州東邦観光ホテル泊》	○	○	○
4	11/13 (金)	ホテル ホテル出発 ↓ 釜 山 ↓ ホテル着(釜山)	06:30 09:00 15:30 18:00	専用バス	朝市観光(食事前希望者だけ、1時間散歩) 慶尚南道農業技術院の訪問 晋州で農家視察(トマト栽培) 施設園芸試験場視察 《釜山ロッテホテル泊》	○	○	×
5	11/14 (土)	ホテル出発 釜山発 東京(成田)着	09:00 14:20 16:10	専用バス JL958	出発まで釜山市内観光 空路、帰国の途へ 着後、通関後、解散	○	-	-

<利用予定航空会社> JL: 日本航空

○募集要項

■日程: 11/10(火)~11/14(土)

■募集人員: 30名(先着順)
(最少催行人員: 15名)

■旅行代金: 148,000円(会 員)
158,000円(非会員)

[上記費用に含まれるもの]

- ①航空運賃
(JL日本航空
エコノミークラス航空運賃)
- ②現地バス借り上げ代
- ③宿泊料金
(全4泊 シングル利用)
- ④食事料金
(朝食4回、昼食3回、夕食3回)
- ⑤手荷物料金(規定範囲内1個)
- ⑥出国税込み
- ⑦視察先(農家等)謝金・謝礼
- ⑧専門通訳・ガイド料

[上記費用に含まれないもの]

個人的性格の費用
(国内交通費、超過手荷物代、
旅券発行費用、任意保険料、
電話代等)

※地方発着(福岡・関西空港などから)のご相談にも応じます。
※発着時間、交通機関等は変更になる場合がございます。



1泊目 水原泊

2泊目 金泉泊

3泊目 晋州泊

4泊目 釜山泊

全行程を通じてコーディネーターとして、
慶北大学校 農業生命科学大学 生物産業機械
工学科 李 基明教授が同行されます。

李 基明教授プロフィール

- 最終学歴 東京大学大学院
農業工学科(農学博士)
- 韓国生物環境調節学会会長・
韓国農業機械学会会長など歴任
- 研究分野
・施設園芸に関する機械および設備
・施設園芸における環境制御
・イチゴ高設栽培システムなど



申込み期限は平成21年9月30日(水)です。別紙申込書をFAXでお送りください。

旅行企画・主催:
社団法人 日本施設園芸協会
問合せ先: 企画部長 平島 誠也
TEL: 03-3667-1631
FAX: 03-3667-1632
hirashima@jgha.com

旅行手配:
株式会社 日本旅行
東京法人・コンベンション営業部
担当: 安齊・長嶋
TEL: 03-5369-4535
FAX: 03-3225-1008
toshiaki.anzai@nta.co.jp